

経済・経営学科・経済システム専攻 カリキュラム・マップ

凡例

科目区分
(再掲は薄色表示)

必修教育必修 学科必修 学科選択 学科選択必修 卒業研究 国際コース選択必 修士課程 修士課程 博士課程 研究指導

修士課程 修士課程 博士課程 研究指導

区分	領域	学習目標												B1			B2			B3			B4			M1			M2			O1			O2			O3		
		学士課程				修士課程				10	20	30	40	10	20	30	40	10	20	30	40	10	20	30	40	10	20	30	40	10	20	30	40	10	20	30	40			
実践的知識の活用	知識・理解の活用	D-1. 世界的な視点と自立的な学習及び実践力、高い専門性を持って現代経済の動向を的確に把握し、問題解決に取り組むことができる。				D-3. 各専門領域での研究を通して、世界的な視野と自立的な学習態度を持ちつつ、課題解決を行うことができる。				D-4. 各専門領域での研究を通して、世界的な視野と自立的な学習態度を持ちつつ、課題解決ができるようになる。																														
		D-2. 国際的に活動するときに、自身が担うべき役割を担い、多様なコミュニティの発展に貢献することができる。				D-5. 研究課題を自主的に探求する習慣を身につけ、探求した研究課題を整理し、研究成果にまとめることができる。				D-6. 研究課題を自主的に探求する習慣を身につけ、探求した研究課題を整理し、研究成果にまとめることができる。				経済・経営学演習			リサーチ・ワークショップ															リサーチ・ワークショップ								
新しい知見の創造		C-2-1. 複雑化・多様化する現代経済社会が直面する課題を的確に把握し、その解決策を提案することができる。				C-2-4. 現代における経済システムの問題を理論的・概念的に分析し、問題解決のための方法を検討することができる。				C-2-8. 現代社会のグローバル化に伴い生ずる問題の解決ができる。				【自由選択科目】																										
		C-2-2. 現代経済社会が抱える問題を歴史・構造的視点から分析し、問題を発見・解決することができる。				C-2-5. 産業の発展動向に関する研究を進め、望ましい経済社会のための産業政策の企画を設計することができる。				C-2-9. 現代社会が抱える問題・歴史的・構造的視点からアプローチすることができる。				【自由選択科目】																										
知識・理解の応用	経済分析系	C-1-1. 現代経済社会が抱える問題を理論的・構造的視点から把握することができる。				C-1-7. 地域経済の国際化に対応した課題を解決することができる。				C-1-13. 過去の研究成果を検討し、自立的に研究課題を設定できる。				【経済分析系選択必修科目】																										
		C-1-2. 現代経済社会の問題を分析し、問題解決の企画に取り組むことができる。				C-1-8. 経済活動の国際化に対応して発生する課題を解決することができる。				C-1-14. 経済システムの変化に関わる先行研究を検討し、歴史的・体系的に研究課題を自立的に設定することができる。				【経済分析系選択必修科目】																										
		C-1-3. 産業の発展動向を予測し、望ましい経済社会のための産業政策の企画に取り組むことができる。				C-1-9. 現代社会が抱える問題を歴史的・構造的視点から分析し、研究することができる。				C-1-15. 経済政策を検討し、問題解決に関わる研究課題を自立的に設定できる。				【産業分析系選択必修科目】																										
		C-1-4. 産業の発展を歴史的・体系的に分析することができる。				C-1-10. 経済システムの変化に関して歴史的・実証的・学際的な研究を進め、新たな知見を発見することができる。				C-1-16. 産業の発展を分析し、産業政策の企画に関わる研究課題を自立的に設定できる。				【企業分析系選択必修科目】																										
知識・理解	企業分析系	C-1-5. 健全な企業活動が営まれるための知識を修得し、それを活用する機会がある場合には、経営学・社会学の視点を駆使して、これらに対応することができる。				C-1-11. 経営学・社会学の分析能力を駆使して、企業の経営政策について検討できる。				C-1-17. 企業活動に関わる先行研究を整理し、新たな研究テーマを自立的に設定できる。																														
		C-1-12. 複雑化・多様化する現代社会が直面する課題を的確に把握することができる。				B-8. 理論的・構造的な研究を進め、今日の経済システムについて説明できる。				B-9. 歴史的・実証的研究を進め、今日の経済システムについて説明できる。				【大学院専門科目】																										
		B-1. 理論的・構造的視点から、今日の経済社会の動向について説明できる。				B-2. 歴史的・実証的視点から、産業の発展について説明できる。				B-3. 経営学や社会学の視点から、企業活動の発展と動向の発展とあるべき姿について説明できる。				【大学院基本科目】																										
		B-4. 経営・経営学の基本理論と幅広い教養、豊かな視座と国際性を持って、経済社会について理解することができる。				B-5. 経営学や社会学の視点を駆使して、企業活動の発展と動向の発展とあるべき姿について説明できる。				B-6. 経営学や社会学の視点を駆使して、企業活動の発展と動向の発展とあるべき姿について説明できる。				【大学院基本科目】																										
主体的な学び・協働	A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたること	A-7. 国際的な舞台で、研究成果を発表するための語学力を身につけ、国際的な研究ネットワークを主体的に活用することができる。				A-8. 国内外の学会・研究会レベルで、正しく自分の考えを表明することができる。				A-9. 自己表現能力と、討論力や議論などのコミュニケーション能力を鍛え、他分野と積極的に交流することができる。				学術英語B・インターナショナル			学術英語C・テーマベース																							
		A-3. 研究会やワークショップレベルで、正しく自分の考えを表明することができる。				A-4. 自己表現能力と、討論力や議論などのコミュニケーション能力を鍛え、他分野と積極的に交流することができる。				A-5. 自己表現能力と、討論力や議論などのコミュニケーション能力を鍛え、他分野と積極的に交流することができる。				学術英語B・インターナショナル			学術英語C・テーマベース																							
		A-6. 各専門領域での専門性を高める学際的協働(ディーンシップ・アススタントディーンシップ・アシスタントなどへの応募)を通して、集団・組織の運営、および協働の研究推進を行うことができる。				A-10. 各専門領域での専門性を高める学際的協働(ディーンシップ・アススタントディーンシップ・アシスタントなどへの応募)を通して、集団・組織の運営、および協働の研究推進を行うことができる。				A-11. 経済政策に関する関心と探究心、研究に主体的に取り組む姿勢を持つとともに、望ましい経済社会の構築に向けて自ら取組むことができるように				学術英語B・インターナショナル			学術英語C・テーマベース																							
		A-1. (主体的な学び) 深い専門的知識を豊かな教養を背景とし、アクティブラーナーとして自ら問題を発見し、創造的・批判的に吟味・検討し、実践に取り組みることができる。				A-5. 各専門領域の基礎知識を身につけ、それをさらに発展させて専門性を深めることができる。				A-6. 各専門領域の基礎知識を身につけ、それをさらに発展させて専門性を深めることができる。				学術英語B・インターナショナル			学術英語C・テーマベース																							
		A-2. (協働) 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたること				A-3. 研究会やワークショップレベルで、正しく自分の考えを表明することができる。				A-4. 自己表現能力と、討論力や議論などのコミュニケーション能力を鍛え、他分野と積極的に交流することができる。				学術英語B・インターナショナル			学術英語C・テーマベース																							
		A-6. 各専門領域の基礎知識を身につけ、それをさらに発展させて専門性を深めることができる。				A-10. 各専門領域での専門性を高める学際的協働(ディーンシップ・アススタントディーンシップ・アシスタントなどへの応募)を通して、集団・組織の運営、および協働の研究推進を行うことができる。				A-11. 経済政策に関する関心と探究心、研究に主体的に取り組む姿勢を持つとともに、望ましい経済社会の構築に向けて自ら取組むことができるように				学術英語B・インターナショナル			学術英語C・テーマベース																							
区分	領域	学習目標												B1			B2			B3			B4			M1			M2			O1			O2			O3		
		教育課程の特別区分												基礎・発展			発展・統合			発展																				
		アセスメント・プラン												学修成果の達成度を学生の授業アンケートと成績評価に基づいて総合的に精査する(基本科目)						学修成果の達成度を学生の授業アンケートと成績評価に基づいて総合的に精査する(選択必修科目)						学修目標達成度を修士論文発表会の中で評価する						学修目標達成度を博士研究発表会の中で評価する								